



第78回 日本循環器学会学術集会「市民公開講座」

# 心臓病と ともに生きる

JCS2014 TOKYO



日時 2014年3月23日(日)

開場14時20分(予定)、開演14時50分、閉会17時10分



会場 東京国際フォーラム ホールC

## Program

14:50 ●日本心臓財団よりご挨拶 矢崎 義雄 (日本心臓財団 理事長)

15:00 ●開会挨拶 永井 良三 (第78回日本循環器学会学術集会 会長/自治医科大学/東京大学 名誉教授)

【第1部 講演】司会:平田 恭信 (東京通信病院)

15:05 講演1 狭心症・心筋梗塞と上手に付き合うには

講師:山岸 正和

(金沢大学医薬保健研究域医学系臓器機能制御学・循環器内科)

15:25 講演2 心不全と上手に付き合うには

講師:筒井 裕之

(北海道大学大学院医学研究科循環病態内科学)

15:45 講演3 生活習慣病と上手に付き合うには

講師:久代 登志男

(日本大学医学部/同総合健診センター)

16:05 【第2部 対談】いつもチャレンジ精神で~いきいきと毎日を過ごすために~

永井 良三/草野 仁 (TVキャスター)

16:35 【第3部 パネルディスカッション】「心臓病とともに生きる」

司会:永井 良三/平田 恭信 パネリストは上記出演者

主催:第78回日本循環器学会学術集会、公益財団法人日本心臓財団、朝日新聞社

後援:東京都、公益社団法人日本医師会、公益社団法人東京都医師会

協賛:第一三共株式会社

## 開会挨拶



### 永井 良三

(第78回日本循環器学会学術集会 会長/自治医科大学/東京大学 名誉教授)

略歴

- 昭和49年 東京大学医学部医学科卒業
- 昭和52年 東京大学医学部附属病院第三内科医員
- 昭和58年 University of Vermont, Department of Physiology and Biophysics (Professor Norman Alpert), Visiting Assistant Professor
- 昭和63年 東京大学医学部附属病院検査部講師
- 平成5年 東京大学医学部第三内科助教授
- 平成7年 群馬大学医学部第二内科教授
- 平成10年 東京医科歯科大学難治疾患研究所客員教授
- 平成11年 群馬大学医学部附属病院臨床試験部長
- 平成11年 東京大学大学院医学系研究科内科学専攻循環器内科教授
- 平成15年 東京大学医学部附属病院院長
- 平成21年 東京大学トランスレーショナルリサーチ機構長
- 平成24年 自治医科大学学長

所属学会

日本内科学会理事・理事長、日本循環器学会理事・代表理事、日本心臓病学会理事・理事長、日本血管細胞生物医学会理事・理事長、日本臨床分子医学会理事・理事長、国際心臓研究学会日本部会理事、日本心血管内分泌代謝学会理事、日本動脈硬化学会理事、日本脳医学会理事など。  
紫綬褒章(平成21年)、European Society of Cardiology (ESC) Gold Medal(平成24年)など。

## メッセージ

「第78回日本循環器学会学術集会」主催の市民公開講座におこしいただき、ありがとうございます。本講座のテーマは、「心臓病とともに生きる」です。「心臓病」という言葉は皆様もよく耳にされていると思いますが、一口に「心臓病」といっても、非常に多くの病気があります。今回は、身近な疾患として「狭心症、心筋梗塞、心不全」を取り上げ、それらの心臓病と上手に付き合うにはどうしたらよいか、またその予防対策としての生活習慣などについて、皆さんと一緒に考えてみたいと思います。

第1部では①狭心症・心筋梗塞、②心不全、③生活習慣病、について日本を代表する3人の先生方に、ご講演いただきます。第2部では、TVキャスターとしてご活躍中の草野仁さんをお招きして「いつもチャレンジ精神で～いきいきと毎日過ごすために～」と題し、対談形式で草野さんの元気と笑顔、そして健康の秘訣をお伺いしたいと思います。

心臓病との上手な付き合い方について、本講座で楽しくご理解いただくことで、皆さんの日常生活に少しでもお役立ていただけますことを心より願っております。

## 講演1 狭心症・心筋梗塞と上手に付き合うには



### 山岸 正和

(金沢大学医薬保健研究域医学系臓器機能制御学・循環器内科)

経歴

昭和53年 金沢大学医学部医学科卒業  
昭和54年 大阪警察病院心臓センター内科  
昭和57年 大阪大学医学部内科  
平成2年 アメリカ合衆国ケンタッキー大学医学部循環器内科教室  
平成3年 国立循環器病センター内科心臓血管部門医長  
平成15年 国立循環器病センター研究所バイオサイエンス部併任  
平成20年 金沢大学医薬保健研究域医学系臓器機能制御学教授  
循環器内科科長  
金沢大学付属病院北陸ハートセンター長  
平成22年 金沢大学大学院医学系研究科循環器医学専攻長  
平成24年 金沢大学附属病院内科部門長

所属学会

日本循環器学会理事、日本内科学会評議員、日本心エコー学会理事、  
日本心臓病学会理事、アメリカ合衆国心臓学会フェローなど。  
日本循環器学会認定循環器専門医、日本内科学会認定内科認定医、  
日本心臓血管インターベンション学会認定専門医・指導医など。

### メッセージ

全身に絶え間なく血液を送り続ける心臓は、脈拍数が60回/分の場合、毎日約10万回の拍動を繰り返しています。この絶え間のない拍動運動を支えているのが、「冠状動脈」と呼ばれる心臓の筋肉に血液を送る血管です。「冠状動脈」は大変しなやかな血管で、運動などにより拍動運動が活発になると、流れる血液量が4-5倍まで増加する仕組みを持っています。生活習慣病などを放置しますと、動脈硬化が進行し、「冠状動脈」が狭くなります。このような状態で運動しますと、「冠状動脈」から送られる血液量が増加出来ず、「胸の痛み」(狭心症)を自覚します。また、「冠状動脈」が突然詰ると、心臓の筋肉が「壊死」に陥り心筋梗塞を発症します。狭くなった「冠状動脈」を拡張したり、バイパス手術により血流を再開することにより症状が軽快し、予後も改善することが示されています。しかし、生活習慣病として一括されています高血圧、糖尿病や脂質異常症などをしっかり管理していくことが、狭心症、心筋梗塞と付き合っていくうえで最も重要です。



草野 仁  
(TVキャスター)

経歴

- 昭和19年 満州・新京に生まれる
- 昭和37年 長崎県立長崎西高等学校卒業
- 昭和42年 東京大学文学部社会学科卒業
- 昭和42年 NHK入社 鹿児島放送局赴任（その後福岡、大阪局を経る）
- 昭和52年 NHK東京アナウンス室へ  
主にスポーツ・キャスターとして、モントリオール（昭和51年）及び  
レークプラシッド（昭和55年）オリンピックをはじめ、  
さまざまなスポーツの実況中継を担当。
- また、「ニュースセンター9時」「ニュースワイド」のキャスターも務めた。
- 昭和60年 NHK退社以後、フリーのTVキャスターとして活躍中

「対談：いつもチャレンジ精神で ～いきいきと毎日過ごすために～」

キャスターとしてテレビ出演されている草野仁さんをお招きし、草野さんのキャスター人生を共演者とのエピソードを交えながら、毎日の笑顔の秘訣・健康の秘訣を教えてください。様々な共演者との経験から培われた草野さんの人生訓より、病氣と上手につきあうヒントをおうかがいいたします。